



2024年8月9日

各 位

会 社 名 株式会社 Key Holder  
代 表 者 名 代表取締役社長 大出 悠史  
(証券コード番号 4712・スタンダード市場)  
問 い 合 せ 先 執 行 役 員 柴 野 光 平  
電 話 番 号 0 3 - 5 8 4 3 - 8 8 8 8

### 通期連結業績予想に関するご説明

2024年2月13日付け「2023年12月期 決算短信〔IFRS〕（連結）」で公表いたしました、2024年12月期の通期連結業績予想に対し、本日開示いたしました当第2四半期（中間期）決算の実績をふまえて、当第2四半期（中間期）時点（以下「中間期」という）において業績予想の修正を行わないこととする当社の方針につきまして、下記のとおり、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2024年12月期 第2四半期（中間期）時点の進捗率

	2024年12月期 通期連結業績予想	2024年12月期 第2四半期(中間期)実績	進捗率
(1) 売上収益	32,000百万円	14,150百万円	44.2%
(2) 営業利益	2,400百万円	561百万円	23.4%
(3) 親会社の所有者に 帰属する当期利益	2,200百万円	499百万円	22.7%
(4) 基本的1株当たり 当期利益	117円41銭	26円59銭	22.6%

#### 2. 修正を行わない理由及び方針

中間期の売上収益につきましては、1月1日付けで当社の連結子会社となっております株式会社10ANTZ（以下「TA」という。）を除く既存事業におきましては、デジタル広告事業を担う株式会社FA Projectにおいて、主要な取引先である脱毛業界の広告出稿に係る費用の見直しなど、業界動向の変動による影響を大きく受けたビハインドを考慮しましても、計画を上回る実績で推

移してきております。

一方、T Aの売上収益につきましては、グループ化初年度である上、新規リリースのアプリゲーム等に係る売上予測など、見積もりが非常に困難であるものの、当社グループへの取り込みにあたっては、これら不確定要素も考慮しつつ計画値の策定を行っております。しかしながら、一部既存コンテンツのユーザー数の減少により売上計画が未達となったことなどにより、同社を含めた中間期時点での通期連結業績予想に対する進捗率は44.2%にて推移しております。

営業利益以降につきましては、既存事業及び乃木坂46合同会社に紐付く持分法投資利益ならびにT Aに分けてご説明いたします。

既存事業では、対計画の進捗率は約170%とほぼ全ての既存事業で順調に推移をしております。一方、持分法投資利益につきましては、過去の実績等を参考に計画に取り込んでおりましたが、前年同期にごございました助成金収入の減少に伴う影響のほか、物販売上なども含めましたメンバーの卒業コンサートに係る収益機会が減りましたことなどにより、進捗率は約40%で推移しております。また、T Aにおきましては、一部既存コンテンツのユーザー数の減少により売上計画が未達となったことに加え、リアルイベントの開催ならびに新規コンテンツの開発に係る費用などコストの増加による営業損失を計上したことが主な要因として、グループ全体の進捗率を押し下げている状況にあります。

既存事業の進捗率は引き続き安定して推移するものと考えているほか、持分法投資利益に係る乃木坂46の活動が当第3四半期以降の夏の全国ツアーの展開や、36thのシングルのリリース等、巻き返しを図れるものと想定していることに加え、T Aの更なる活動の強化によって、ビハインドは一定程度改善できるものと考えております。

上記の事業分野に加えまして、2024年1月26日付け「株式会社トポスエンタープライズの民事再生支援についての意向表明に関するお知らせ」及び、同4月30日付け「(経過開示)株式会社トポスエンタープライズとの民事再生支援に関するスポンサー契約締結のお知らせ」にてお知らせをしておりますとおり、運送事業や倉庫事業、卸売業等を展開する株式会社トポスエンタープライズ(以下「トポス」という。)の第三者割当の引受けに向けた取り組みにも着手しており、本日付け「(経過開示)株式会社トポスエンタープライズとの民事再生支援に関するスポンサー契約締結における未確定事項に関するお知らせ」のとおり、トポスの連結子会社化を予定しております。

以上のことなどから、当社は、売上収益及び営業利益の両面におきまして、既存事業のさらなる安定稼働及び乃木坂46合同会社に係る持分法投資利益の改善と、T Aにおける取り組みを強化することで、対計画推移はさらに安定していくものと考えております。これに加え、トポスの連結子会社化に伴う連結業績及び会計処理による影響度合いがそれぞれで未確定であるものの、相応の内容と規模となることが見込まれますことから、通期連結業績予想は据え置くこととし、数値が確定次第速やかにお知らせするものいたします。

### 3. 今後の見通し

トポスの連結子会社化及び一連の会計処理による通期連結業績予想への影響額ならびに、各既存事業の実績がより明確になり、詳細が確定した段階で、早急に通期連結業績予想の修正の有無を含めまして、お知らせいたします。

以上